

広報 ごじょうめ

発行所 秋田県五城目町夜場 編集 総務課 電話 (018876) 代 2100番
印刷所 湖 東 印刷 所 電話 (018876) 2430番 (一部五円)
郵便番号 018-17 毎月1日・15日発行

<ミニ知識> 植物人間

近年植物人間という言葉が生れた。これは交通事故で意識を失って眠り礎する人や、水俣病の重症患者のような人を指している言葉である。

脳の機能障害で、目は見え、耳はきこえず、口はきけないし、自分の意思で体を動かすことの出来ない自分が生きているという感覚もうしなわれていることから、こんな言葉が生れた。

現代文明に犯かされ、現代文明で生かされ続けられて、世にも気の毒な人々がたくさんおる事を、フット考えてみたい。



最近の小中学校の遠足は、そのほとんどがバスを利用する。遠足ではなくて遠乗りの感じである。遠足の目的を思うと一考を要することではないだろうか。

歩きながら、道端に咲く花、雑草、樹木、昆虫、鳥などの名前を聞くことは楽しいもので、教室で学んだことより、意外と記憶に残っているものだ。

大川小学校では去る9月12日親子のなべっこ遠足をおこなった。これはPTAとの協力事業で初めての試みであったが、参加者が400人を越すマンモス集団となった。残存潮をめぐる提防のスタンドに陣取った一行は、それぞれ腕によりをかけた自慢の料理をくりひろげた。ゲームを楽しんだあとの空腹に、子どもた

ちはうどんやだまこもちを放り込むようにして、食べる、食べる母の料理に文字どおり舌づつみを打った。

おかあちゃんたちとなわとびをしたこと、空と水の青さに、入道雲の白さが目にしみたこと。提防の仕組みがわかったこと。川ごみの残がいかに環境を汚すかわかったこと。自分たちの住むところに、こんなにも立派なハイキングコースがあるのはじめて知ったこと等々。子どもたちの心の窓にはこんなことが写ったことだろう。それにしても炎天下、フーフーいいながら食べただまこもちのすばらしい味は、終生忘れることはないだろう。遠足のだいご味を味わった一日でした。

親子のなべっこ遠足

なべっこ遠足

食糧事情の悪かった戦中戦後は小売標準価格の何倍もの高値で取引され、それでも米の絶対量が不足のため、サツマイモや、馬鈴薯に依存した当時のことを思うと、米が余って豚の飼料にするという現在の論議を耳にするとき、世の中の変化の激しき、栽培技術の水準の高きなどを含めて隔世の感にうたれる。

米の価格が安いに越したことはないが、増産々々から、減産々々と急変する見通しのきかない政策がカチンとくる。

二年位前からカナダ、アメリカなど冷害に見舞われ、昨年はソ連がひどい冷害を受け、ライバル国アメリカから大量の小麦を輸入しているのをみると、地球冷却説もなすける。わが国ではその時の対策はいかがなものでしょうか

米十キロ当りの価格をみてみると、昭和二十一年三月で十九円五〇銭、二十二年十一月にはじめて百円台となり、百四十九円六〇銭となつてゐる。それから十年後の三十二年には八百五十円となり、四十七年十月一日現在一千六百元となつてゐる。

食糧事情の悪かった戦中戦後は小売標準価格の何倍もの高値で取引され、それでも米の絶対量が不足のため、サツマイモや、馬鈴薯に依存した当時のことを思うと、米が余って豚の飼料にするという現在の論議を耳にするとき、世の中の変化の激しき、栽培技術の水準の高きなどを含めて隔世の感にうたれる。

米の価格が安いに越したことはないが、増産々々から、減産々々と急変する見通しのきかない政策がカチンとくる。

二年位前からカナダ、アメリカなど冷害に見舞われ、昨年はソ連がひどい冷害を受け、ライバル国アメリカから大量の小麦を輸入しているのをみると、地球冷却説もなすける。わが国ではその時の対策はいかがなものでしょうか



食糧事情の移り変り

田町 藤原 利

農家で
はなが
米を取り
扱う職業
について
からもう
三十年に
なる。昭和十六年に食糧営団として発足したが、終戦の翌年には配給公団となり、二十六年は現在の株式会社となつてゐる。それぞれ世相の反映した名称に変わつてきているのも興味を覚える。

米十キロ当りの価格をみてみると、昭和二十一年三月で十九円五〇銭、二十二年十一月にはじめて百円台となり、百四十九円六〇銭となつてゐる。それから十年後の三十二年には八百五十円となり、四十七年十月一日現在一千六百元となつてゐる。

新教育長に松橋長悦氏を推薦する

委員長は畑沢実氏留任

新しく選出された委員三名参加のもとに、十月一日午前九時から役場応接室においてはじめての教育委員会を開催した。

案件は、新しい教育長と教育委員長職務代理者の選出であったが、次の人事が満場一致で決定し、県の教委に推選した。



教育長 松橋長悦氏

教育委員長職務代理者 石岩 敬宗

なお教育委員長は畑沢実氏が留任となっている。

・松橋教育委員長経歴

昭和十五年三月

創立金足農業学校本科卒業

昭和十五年三月 富津内中津又

昭和十八年三月 尋常小学校代用教員

昭和十八年三月 秋田県国民学校訓導

昭和二十年十一月 富津内中津又国民学校勤務

昭和二十一年六月 内川村役場書記

昭和二十九年九月 内川村収入役代理
昭和三十年三月 内川村収入役
昭和三十年三月 五城目町吏員
昭和三十年十二月 会計課長補佐

昭和三十三年六月 教育長職務代理者

昭和四十年十月 税務課長

昭和四十二年四月 税務課長

昭和四十四年四月 住民課長

現在に至る。 税務課長

昭和十三年三月 菊地教育委員経歴

昭和十年四月 立教大学経済学部卒業

昭和十年四月 清水組木材課勤務

昭和十五年三月 右 退社

昭和十六年四月 日本木材統制株式会社勤務
昭和二十六年三月 右 退社
昭和二十七年四月 五城目木材工業協同組合専務理事
現在に至る。
昭和四十一年四月 五城目町広業樹製材協同組合理事
現在に至る。

・小玉教育委員経歴

昭和三年三月

秋田県師範学校本科第二部卒業

昭和三年三月 面湯尋常高等小学校訓導

昭和十一年三月 秋田県師範学校専攻科卒業

昭和十二年三月 山本郡上岩川村立上岩川国民学校教頭

昭和十九年十二月 秋田県公立青年学校教員

昭和二十一年二月 五城目町立五城目青年学校校長

昭和二十八年四月 面湯村公立学校教員

昭和二十八年四月 面湯村教育委員会教育長兼任

昭和二十九年三月 右解任

昭和三十一年九月 山本郡山本村公立学校校長

昭和四十二年三月 八部瀧町公立学校校長 願退職

現在に至る。

北々口簡易水道事業竣工

総工費4百8拾6万4千円

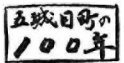
北々口地区は山ふとところに深く、いだからため、の地形のため、従来から水利に恵まれず、数少ない井戸水が唯一の飲料水源であった。

- ・受益戸数 四〇戸
- ・給水能力 二五〇人
- ・総工費 四百八拾六万四千円

しかし、この井戸も吸水期には枯喝状態となり、常に部落の人たちのなやみの種となっていた。

陳情を受けていた町当局でも、地域住民の要望に応じて、是非絶対水量を確保したいとして、二年前から調査検討してきた結果、水

- ・町負担 二百拾万圓
- ・水質 一百拾六万八千圓
- ・水道法による水質検査の結果合格した。



(46)

青年団スポーツ

—スポーツのあゆみ ①— 小野 一二

矢馬崎運動場の開場は大正一三年七月のこと(このシリーズ参照)であるが、陸連の公認グラウンドになったのは昭和十年四月である。このグラウンドは太平洋戦争末期に、畑にされカボチャ・ダイズ・ジャガイモやヒマがうえられていた。その後、五城目高校のグラウンドになった。長い矢馬崎運動場の歴史で、悲劇が一度ある。八年九月五日、郡連合青年団体育大会が開かれることになった。この郡大会は毎秋の矢馬崎の恒例行事となっていた。この大会(大会)として明治神宮大会へと道がついていく。大会前日になると遠い町村の選手が旅館に陣取り、大会ムードを盛りあげた。町の人々も、そのムードに酔った。当日になると五城目軌道線に矢馬崎臨時停留所が設けられた。この日は朝から天気が悪かったが強風、低くたれた黒い雲が切れて北に飛んだ。険悪な雲のたぎまぎまだった。船越青年団の選手たちは、天気の悪くなったことに意見が二に分かれていた。そして汽車でやってくる組と船でも大丈夫とする組になって五城目に向った。瀧向いの青年団の選手は、例年瀧を船で横断し、一日市馬場目川口から入って竜馬橋下につける。船越青年団の船が湖のまん中になった頃大暴風雨となった。この台風は「室戸台風」と名づけられ

た超大型台風である。ラジオもまた台風情報を知ることもなかった時代のことである。船に乗った二十三名全員、対岸につかなかった。十五年(一九四〇)は紀元二千六百年に当たっていた。この年は奉祝行事で日本中が湧いた。すぐ次の年に迫っている太平洋戦争の足音に人々は気付くようになった。第一回明治神宮大会も記念行事の一つだった。大会は十月二十九日から開催された。県代表として五城目から出場したのは伊藤直也(走幅跳)・高跳・長谷川真作(三段一乗道)・川元生、栗山敏雄、荒川要五郎、藤田秋蔵、船岡安丸、吉田、中津川以上七名)である。

国防競技は十四年から青年団種目となったもので、軍装して流を背負い、チーム全員で城壁を越えたり流を渡ったりするタイムで順位を定める。五城目チームは、十五年になって競技するたびに前年度の日本記録を破っていた。郡大会でも県大会でも大幅に日本記録を破り、全国大会での活躍を期待された。彼等は仕事をおえてから夜おそくなるまで練習した。神宮大会での新記録は41秒7を出したが六位入賞にとどまった。このチーム三名はその後戦死している。スポーツはこの翌年きびしい統制をうけ、戦争一色にめらわれていった。

に改正されること
になつております。
(来年十月の予定)
ここに掲げた表はその
改正される前の額
です。このようにど
んどん改正され充実
して行く年金を正し
く理解して頂くため
に掲載しました。

あなたのもらう年金額は 次のとおりです。

国民年金は昭和四
十七年度に入り障害
年金、母子年金、福
祉年金等の受給額が
上つており、このよ
うに最近毎年一万円
前後の由で上積みさ
れております。
昭和四十八年度は
普通の受給額も大巾

※ 4月生れの人の計算につき、生れ月により11ヵ月加算のこと
※ 繰上げ支給 60才 58%・61才 65%・62才 72%・63才 80%・64才 89%
繰下げ支給 66才 69才 加算額未定

生年月日	納付年数	納付年数中に納付する保険料総額	あなたの年金額			終身年金額累計 (65才からの平均余命を男12.5才女15.5才とする)
			定額分(A)	優遇分(B)	計(A)+(B)	
明39.4.1 ~ 明45.4.1	10	25,800円	320円月 × 120 = 38,400円	120円月 × 180 = 21,600円	年 月 60,000円 (5,000円)	男.....750,000円 女.....930,000円
明45.4.2 ~ 大2.4.1	11	31,200	132 = 42,240	168 = 20,160	62,400 (5,200)	男.....780,000 女.....967,200
大2.4.2 ~ 3.4.1	12	37,500	144 = 46,080	156 = 18,720	64,800 (5,400)	男.....810,000 女.....1,004,400
3.4.2 ~ 4.4.1	13	44,100	156 = 49,920	144 = 17,280	67,200 (5,600)	男.....840,000 女.....1,041,600
4.4.2 ~ 5.4.1	14	50,700	168 = 53,760	132 = 15,840	69,600 (5,800)	男.....870,000 女.....1,088,800
5.4.2 ~ 6.4.1	15	57,300	180 = 57,600	120 = 14,400	72,000 (6,000)	男.....900,000 女.....1,116,000
6.4.2 ~ 7.4.1	16	63,900	192 = 61,440	108 = 12,960	74,400 (6,200)	男.....930,000 女.....1,153,200
7.4.2 ~ 8.4.1	17	70,500	204 = 65,280	96 = 11,520	76,800 (6,400)	男.....960,000 女.....1,190,400
8.4.2 ~ 9.4.1	18	77,100	216 = 69,120	84 = 10,080	79,200 (6,600)	男.....990,000 女.....1,227,600
9.4.2 ~ 10.4.1	19	83,700	228 = 72,960	72 = 8,640	81,600 (6,800)	男.....1,020,000 女.....1,264,800
10.4.2 ~ 11.4.1	20	90,300	240 = 76,800	60 = 7,200	84,000 (7,000)	男.....1,050,000 女.....1,302,000
11.4.2 ~ 12.4.1	21	96,900	252 = 80,640	48 = 5,760	86,400 (7,200)	男.....1,080,000 女.....1,339,200
12.4.2 ~ 13.4.1	22	103,500	264 = 84,480	36 = 4,320	88,800 (7,400)	男.....1,110,000 女.....1,376,400
13.4.2 ~ 14.4.1	23	110,100	276 = 88,320	24 = 2,880	91,200 (7,600)	男.....1,140,000 女.....1,413,600
大14.4.2 ~ 大15.4.1	24	116,700	288 = 92,160	12 = 1,440	93,600 (7,800)	男.....1,170,000 女.....1,456,800
大15.4.2 ~ 昭2.4.1	25	123,300	300 = 96,000		96,000 (8,000)	男.....1,200,000 女.....1,488,000
昭2.4.2 ~ 3.4.1	26	129,900	312 = 99,840		99,840 (8,320)	男.....1,248,000 女.....1,547,520
3.4.2 ~ 4.4.1	27	135,300	324 = 103,680		103,680 (8,640)	男.....1,296,000 女.....1,607,040
4.4.2 ~ 5.4.1	28	141,300	336 = 107,520		107,520 (8,960)	男.....1,344,000 女.....1,666,560
5.4.2 ~ 6.4.1	29	147,300	348 = 111,360		111,360 (9,280)	男.....1,392,000 女.....1,726,080
6.4.2 ~ 7.4.1	30	153,300	360 = 115,200		115,200 (9,600)	男.....1,440,000 女.....1,785,600
7.4.2 ~ 8.4.1	31	159,300	372 = 119,040		119,040 (9,920)	男.....1,488,000 女.....1,845,120
8.4.2 ~ 9.4.1	32	165,300	384 = 122,880		122,880(10,240)	男.....1,536,000 女.....1,904,640
9.4.2 ~ 10.4.1	33	171,300	396 = 126,720		126,720(10,560)	男.....1,584,000 女.....1,964,160
10.4.2 ~ 11.4.1	34	177,300	408 = 130,560		130,560(10,880)	男.....1,632,000 女.....2,023,680
11.4.2 ~ 12.4.1	35	183,750	420 = 134,400		134,400(11,200)	男.....1,680,000 女.....2,083,200
12.4.2 ~ 17.4.1	40	221,700	480 = 153,600		153,600(12,800)	男.....1,920,000 女.....2,380,800

(優遇対象者) ↓

※ 所得比例 (老令年金)

納付年数	納付年数中に納付する保険料	年金額	終身年金額累計
1年	4,200円	円 月 年 円 円 180 × 12 = 2,610 (180)	男.....27,000円 女.....33,480
5年	21,000	60 = 10,800 (900)	男.....135,000 女.....167,400
10年	42,000	120 = 21,000 (1,800)	男.....270,000 女.....334,800
15年	63,000	180 = 32,400 (2,700)	男.....405,000 女.....502,200
20年	84,000	240 = 43,200 (3,600)	男.....540,000 女.....669,600
25年	105,000	300 = 54,000 (4,500)	男.....675,000 女.....837,000
30年	126,000	360 = 64,800 (5,400)	男.....810,000 女.....1,004,400
40年	168,000	480 = 86,400 (7,200)	男.....1,080,000 女.....1,339,200

※ 5年年金

- ・ 保険料額 月 750円 年 9,000円
5年間 45,000円
- ・ 年金額 年額 30,000円 (月 2,500円)
- ・ 終身年金額 男 375,000円 女 465,000円

※ (参考) 平均余命

(厚生省44年度簡易生命表より)

年令	男	女
0(誕生時)	69.18才	74.67才
2 0	51.34	56.24
3 0	41.90	46.64
4 0	32.71	37.17
5 0	23.91	28.02
6 0	15.96	19.46
6 5	12.53	15.51

ごみ焼却炉を

あなたの手で作ってみませんか

生活文化の向上と様式の変化にイコールして、ごみの排出量も急速に増大し、収集処理がそれに追いつけないような状況です。

収集処理を少しでも不足にして快適な生活を送っていただくために、実験の結果がよければ広く住民の理解と協力を得て標記の簡易ごみ焼却炉をおすすめします。なおその作り方をおしらせしますので試験してみてください。

生活文化の向上と様式の変化にイコールして、ごみの排出量も急速に増大し、収集処理がそれに追いつけないような状況です。

収集処理を少しでも不足にして快適な生活を送っていただくために、実験の結果がよければ広く住民の理解と協力を得て標記の簡易ごみ焼却炉をおすすめします。なおその作り方をおしらせしますので試験してみてください。

◆特長

- 一、軽量コンクリートブロックを用い、モルタルを使わないで積むので誰にもらくに組立て、取りこわし、移動ができる。
- 二、炉の外壁は十二cmブロックで破れ目地積みなので、相当な外力を受けてもくずれようようなことはない。

◆注意事項

- 一、人家や可燃物の近くに設置しないこと。
- 二、通気口につまらないように、時々掃除をすること。
- 三、燃えやすいものと燃えにくいものを交互に投入すること。

- 四、炉の断熱効果が高いので、燃焼中炉にふれても危険がなく、また投入口のふたも素手で開閉できる。(でもたしかめてからにすること)
- 五、通気口につまらないように、時々掃除をすること。
- 六、燃えやすいものと燃えにくいものを交互に投入すること。

- 一、人家や可燃物の近くに設置しないこと。
- 二、通気口につまらないように、時々掃除をすること。
- 三、燃えやすいものと燃えにくいものを交互に投入すること。

- 四、使用しないときは簡単な雨よけをしておく。
- ◆作り方
- 一、地面を平にして基礎平面図のように、ブロックを水平にならべて炉の基礎とする。
- 二、基礎平面図の点部の部分に十二cmブロックを用い、炉の外壁を破れ目になるように、立面図とみくらべながら四段につみあげる。ただし場所、ごみ量、燃えやすさ等で五段すみでもよいと思う。
- 三、ブロックをつみあげるとき、灰のかき出し口(煮火口)もある)をあけておくが、十三cmコーナーでない方をあらかじめ切りとっておき、その分だけ外壁側へつき出させる。
- 四、隣り近所共同作成することがよいと思う。
- 五、ブロックは一カ五十円(厚さ等によつて違う)位です。
- 四段すみで二三コ五段で二十

(平面図(基礎))

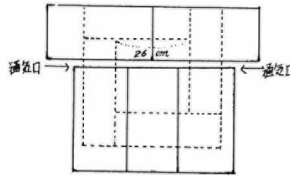
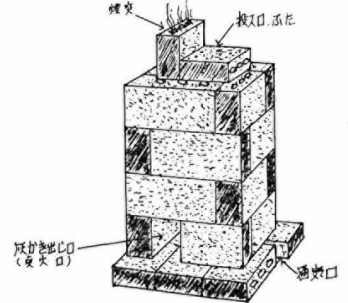


図 何の目せ等は役場保健衛生課 (第2100番)へ



昭和四十七年度 第三次自衛隊員募集

昭和四十七年度第三次自衛隊員を次の内容で募集しておりますので、希望者は住民課担当係までおいで下さい。

- ・試験期日 十月二十日(金) 十一月二十四日(金) 十二月二十二日(金)
- ・試験場 秋田市土崎港中央四丁目六番四十一号 五十嵐 病院 一階
- ・受験区域 秋田市寺内村野第一番地 秋田駐とん部 隊
- ・募集期間 秋田市、男鹿市、南秋田郡、河辺郡 四十七年十月一日～十二月三十一日
- ・種別 二等陸士、二等海士、二等空士

富津内小中学校長 鈴木彦四郎氏急逝



九月二十五日朝、鈴木校長は全校の生徒の前に訓話中突然心筋梗塞に襲われ、先生や生徒のおどろきと悲しみの中で、午前八時四十分にならぬ。

二年前富津内小中学校長として赴任されてからは、教育のかたわら積極的に学園の環境整備に取り組み、その効果も徐々にあらわれつゝあった。

去る二十八日は、五小、五一中を会場として、秋田県小中学校技術家庭科研究大会が開催された。鈴木校長はこの責任者として、昨年以來慎重にその準備をすすめてきたが、いざ本番を前にして倒れ、当日の大会がまことに盛会であつた大けに関係者は校長の急逝に悲しみを深くした。

なおお葬儀は二十九日午前十一時から富津内小中学校体育館で、会葬者四百名もの三学校葬を営んだ。



自然とたわむれる園児

9月18日五城目幼稚園では、森山の山のふもとへミニ遠足をおこなった。男の子を白、女の子は赤のスボットの重なりは着け、虫かご、昼食水筒も重りく、公園の標柱にたどり着く。コマわりの時間、取巻はコマオロギが狂想的。カマキリの種が咲きみだれる自然とたわむれた一日であった。

女子バスケット堂々の優勝 県民スポーツ大会で

スポート生活を生活に取り入れて健康な生活をいとむことを目的とした、第二回県民スポーツ大会が去る八月二十六、二十七日、九月十四、十五日に八橋競技場を中心としてそれぞれの競技がおこなわれた。本町では十一種目に参加し、優勝した女子バスケットチームをはじめ、各種目においてよく健闘し昨年引き続き立派な成績をおさげ体育の町五域目の実力を充分発揮した。成績は次のとおり。

▽走り高跳び ②大石喜郎
▽砲丸投げ ③荒川
(市町村対抗四百メートル)
⑤五域目
ことと
目的とし
た、第二
回県民ス
ポーツ大
会が去る
八月二十
六、二十
七日、九
月十四、
十五日に
八橋競技
場を中心
としてそ
れぞれの
競技がお
こなわれ
た。

◆ソフトボール
天王町 0 0 0 0 0
五域目 4 6 1 3 × 14
(五回コールドゲーム)

◆二回戦

八郎湯町 0 12 10 3 0
五域目町 0 0 3 3 1 7
(五回コールドゲーム)

◆柔道(秋田武道館)

一回戦
角館町 2-1 五域目
(決定戦で角館町の勝ち)

◆バスケットボール

女子 一回戦
五域目 17-14 琴丘町
準決勝
五域目 33-30 井川村

◆バドミントン(敬愛体育館)

男子団体準決勝
五域目 1-4 秋田市
女子団体準決勝
五域目 3-1 象潟町

◆卓球 男子決勝トーナメント

一回戦
五域目 3-0 本荘市
女子決勝トーナメント準決勝
五域目 3-1 稲川町

◆同決勝

秋田市 3-1 五域目町
五域目 3-1 加賀谷
高橋 0-2 加賀谷
金野 0-2 加賀谷
高橋 2-0 加藤

◆同決勝

羽後町 3-0 五域目
近江 藤原 2-0 伊藤信
佐藤 2-1 伊藤美
原田 2-0 斎藤

◆男子バレーボール

三十六才以上
五域目 0-2 男鹿市

◆堂々入場の
本町チーム



本町チームの堂々入場の様子。選手たちはユニフォームを着用し、大きな旗を掲げて歩いている。観客も多く見守っている。

大分県湯布院町青年会

地元青年会と交歓

広く県外の先進地青年団活動の状況を視察、研修の途次九月二十四日に大分県湯布院町青年団員五名と引率者一名が来町した。当日、午前十時から十二時まで公民館において地元青年会との交歓がおこなわれた。

また、大原町社教主事と湯布院町青年団事務局長がそれぞれの町の概要説明と青年団体の活動ぶりを紹介、このあと両町青年団の活動の現状について話し合いを行なった。最後に湯布院町青年会、斉藤雅一君のギター伴奏で合唱をたのしみ、両町の青年歌を披露し、おたがいに健闘をたたえあつて短時間でいっしょに大分県を旅した。これは、おたがが大変有意義な会を終了した。

富田部落研修会

九月十二日本町富津内富田部落(一〇六世帯)では部落公民館に於て左記のような研修会が実施された。

◆参加者
部落会、婦人会、若妻会、青年会、親の会、老人クラブ、小、中学校PTA、ボランティア

◆講演会
一、老人の幸せと家庭
講師 社会教育講師 大島清蔵
二、子供をとりまく諸問題
講師 秋田県福祉司 阿部定美

◆研究討議
① 高年齢及病弱老人の日常生活
問題提起者 老朽 原田敬吉
② 青少年の健全育成と地域
問題提起者 PTA副会長 阿部昭

◆祝辞その他
お祝の言葉と町政の概要
交通と事故対策
住民課長 金田喜三郎
社会福祉協議会の概要
小原 順一
◆謝辞
富田部落落会長 石井良治
◆主催
富田総合青年会

◆研究討議
① 高年齢及病弱老人の日常生活
問題提起者 老朽 原田敬吉
② 青少年の健全育成と地域
問題提起者 PTA副会長 阿部昭

◆研究討議
① 高年齢及病弱老人の日常生活
問題提起者 老朽 原田敬吉
② 青少年の健全育成と地域
問題提起者 PTA副会長 阿部昭

◆研究討議
① 高年齢及病弱老人の日常生活
問題提起者 老朽 原田敬吉
② 青少年の健全育成と地域
問題提起者 PTA副会長 阿部昭

◆研究討議
① 高年齢及病弱老人の日常生活
問題提起者 老朽 原田敬吉
② 青少年の健全育成と地域
問題提起者 PTA副会長 阿部昭

◆研究討議
① 高年齢及病弱老人の日常生活
問題提起者 老朽 原田敬吉
② 青少年の健全育成と地域
問題提起者 PTA副会長 阿部昭

◆研究討議
① 高年齢及病弱老人の日常生活
問題提起者 老朽 原田敬吉
② 青少年の健全育成と地域
問題提起者 PTA副会長 阿部昭

◆研究討議
① 高年齢及病弱老人の日常生活
問題提起者 老朽 原田敬吉
② 青少年の健全育成と地域
問題提起者 PTA副会長 阿部昭

◆研究討議
① 高年齢及病弱老人の日常生活
問題提起者 老朽 原田敬吉
② 青少年の健全育成と地域
問題提起者 PTA副会長 阿部昭

◆研究討議
① 高年齢及病弱老人の日常生活
問題提起者 老朽 原田敬吉
② 青少年の健全育成と地域
問題提起者 PTA副会長 阿部昭

◆研究討議
① 高年齢及病弱老人の日常生活
問題提起者 老朽 原田敬吉
② 青少年の健全育成と地域
問題提起者 PTA副会長 阿部昭

けている方に対して、内閣総理大臣から銀杯が贈られることになりました。
また、銀杯を贈られる方は、旧金鶏勲章を受けている方で昭和三十八年四月一日生存者(三三、四、一以後)に後継した方には遺族に贈られることとなる)でありました。当者は役場に申し出ますから、なお、この銀杯を贈る事務の期限は、昭和四十八年三月三十一日までとなっておりますのでお知らせします。

稲わらを堆肥に

稲わらは、最近まで農家の副業に重要な役割を果たしてきた。しかし、肥料をはじめ、いろいろな容器の原料が紙やビニールに変わって、稲わらの需用が次第に薄くなっていく現状である。加えて農機具の作業工程において、短く切断する機械が非常に多くなったこと、人手不足のため稲わらの焼却が流行し、スモッグ公害を起すようになっている。果や町ではこのような事態を重くみて、この機会に無肥水稲栽培の解消に努めることとして、稲わら利用による地力維持の面から有機質施用の重要性と、冷害の危険の多い秋田県の栽培環境等を考え合せると、堆肥のもつ役割は無視出来ないところである。稲刈もたけなわ農家のみなさん、このことを深く認識して、稲わらを堆肥にして水田に還元するよう努めてください。
稲わらの焼却で大気汚染スモッグ発生を防ぐためにも協力ください。

暮しの案内

秋の大掃除

五城目地区から実施

町では秋の大掃除の立入指導をつぎの日程で実施します。町内部落の清掃実施は十五日(清掃デー)から立入指導前日まで徹底的にしましょう。

不衛生害虫の発生源の除去
▽下水、ミダ、汚水だめ及び便所等は掃除のうえ消滅し、清潔をはかる。
▽浴舎及び鶏舎の掃除

「赤い羽根」共同募金のおねがい

二十一日 紀久梁町、長町、仲町、矢馬崎
米沢町、築地町、畑町、中川原
岩城町、館町
二十一日 大川、森山地区
二十七日 馬場内川地区
八日 馬場内川地区
九日 富津内地区

ことしも十月一日から全国一斉に国民たすけあい共同募金運動が展開されますが共同募金がはじまっています。以来今年で二十五周年です。全県の募金目標額は五千四百一十万円(昨年度四百九十六万円一〇〇増)となっておりますがこの金の配分予定額は次のようになっていきます。

- 一、社会福祉施設に千二百七十八万円(二三、五%)
- 二、社会福祉協議会に三千二百六十六万円(五五、五%)
- 三、各市町村社会福祉協議会へ二千三百八十五万円(特配を含む)

- ① 各都社会福祉協議会へ
- ② 各都社会福祉協議会へ
- ③ 二百七十六万円
- ④ 県社会福祉協議会へ
- ⑤ 三百六十五万円

- ⑥ 社会福祉団体の育成費に九十七万円(一、八%)
- ⑦ 県校階の老人クラブ
- ⑧ 少年の非行防止
- ⑨ 家族みんなで話し合いの場を多くしましょう。
- ⑩ 少年の外出、帰宅時間、持物に

読書の秋です

一 新刊書をご利用ください

- 穴 (仁木 悦子)
- 巨大な墓標 (黒岩 重吾)
- 地下銀行 (邦光 史郎)
- アテナノナイテガミ (大里 知子)
- アポロは月に行かなかった (草月 隆)
- 見知らぬ伴侶 (戸川 昌子)
- 赤富士殺人事件 (斎藤 栄)
- ガラスの結晶 (渡辺 淳一)
- 日本の文学 (77) 名作集 (1)
- 日本の文学 (78) 名作集 (2)
- 創造力 (瀬川 正明)
- パーティゲーム (武田 建)
- 愛の手紙の書き方 (やり田 研一)
- ハッスルドクター 診断記 (南雲 朝雄)
- 海外青年旅行 (松田 賢)
- 水と文明 (NHK 海外取材班)
- 保育と集団あそび (小関 康之)
- 農村青年教育の実践 (和田 金次)
- 交通事故の法律相談 (依 正市)
- 女子高校生 (朝日新聞社)

- ① 各都社会福祉協議会へ
- ② 各都社会福祉協議会へ
- ③ 二百七十六万円
- ④ 県社会福祉協議会へ
- ⑤ 三百六十五万円
- ⑥ 社会福祉団体の育成費に九十七万円(一、八%)
- ⑦ 県校階の老人クラブ
- ⑧ 少年の非行防止
- ⑨ 家族みんなで話し合いの場を多くしましょう。
- ⑩ 少年の外出、帰宅時間、持物に

十五日は清掃デー

午前六時半から二時間
十月の清掃デーは十五日です。朝六時から八時まで一家そろって清掃しましょう。

ラブ身障者、母子福祉精進者の親、言語障害者の親、里親、遺族会、その他
四、その他の諸費二千四十六万円(一九、二%)
広報活動、募金資料、施設調査会議費、事務局管理運営費、交付金分担金等となっています。

日ごろできなかった下水の泥上げをはじめ、町内のよれておるところの清掃と、隣り近所のかたがたと話しあつて、よりよい環境をつくりましょう。環境美化のご相談、ご意見、ご要望は役場(二二〇番) 保健衛生課まで

※本町の本年度の割当目標は七十五万円(これを平等制と資産割の二本建てで町内部落別に割当てました。九月下旬に各地区ごとに打合会を開いております。十月月上旬に各家々に係員の方(町内、部落会の役員の方又は婦人会役員の方)がお願いに行かれると思います。こうした思慮のない人達の為に温いご協力を切にお願い申し上げます。

秋の防犯運動

秋の農繁期を迎え総合防犯運動が始まり、十月二十日まで次の事項に重点を置き実施されます。犯罪と火災のない明るい町づくりにもんで協力しましょう。

- ① 各都社会福祉協議会へ
- ② 各都社会福祉協議会へ
- ③ 二百七十六万円
- ④ 県社会福祉協議会へ
- ⑤ 三百六十五万円
- ⑥ 社会福祉団体の育成費に九十七万円(一、八%)
- ⑦ 県校階の老人クラブ
- ⑧ 少年の非行防止
- ⑨ 家族みんなで話し合いの場を多くしましょう。
- ⑩ 少年の外出、帰宅時間、持物に

ヤング登場

旅のおもしろさ



館町門間郁子

旅は道連れ、世は情。
最近、気の合った者どおして旅に出る機会に恵まれた。ちょっと人数が多かったけれど、学生時代の友五人とである。私の友は皆それぞれ変わったところを持つ人ばかりである。

先に例を上げたドア一つ。他人に迷惑をかけたか、かけないかの違いで人生とは大きく変わることも。

一人は、慎重型、ある人は、交際型、ルーキー型など。それぞれ持ち味を生かして旅に出た私たち。私は私なりのケチを利用して、人の態度を見て、どこでどのようなことをし、どのようなに推しはかめるの持ち方を余頭に置いて観察した。せつかく高い国鉄運賃を払ったのですから行きも帰りも、注意深く、

世間一般に私たちが若者は常識を知らないという。ここにこうした背景があるのではないかしら。

き点がいくつあった。
それは、汽車の乗り降りのドアの開け閉めである。静かに開ける者、荒つぱく閉めるなど多種多様である。ことわざに「十人十色」といふことがあるが、

最後に、私を県外へ脱出させてくれた親に感謝せずにはおれない。
芭蕉の「奥の細道」から――
月日は百代の過客にして行きかふ年もまた旅人なり私ほしむじみこの句を味わうことができた昨今である。

は常に注意し、不審な点はお互いに話し合ひましょう。
⑦ 子供の火遊び防止
秋の農繁期には、子どもに目が

行届かない場合が多いので、子どもの火遊びには充分注意し、火災を防止しましょう。
五城目町防犯防火組合